

令和7年度 第4回学長選考・監察会議議事録

I. 日 時 令和7年11月20日（木） 16時05分～17時00分

II. 場 所 オンライン

III. 出席者 西堀（議長）、河田、塩尻、島田、銭谷、宮坂
伊藤、内山、増島、松浦、三木、和田各委員
ワザバー 大井監事、山本監事、丸山事務局長
（欠席者：大鳥委員）

IV. 前回議事録について

前回の議事録（案）について、原案のとおり承認された。

V. 議 事

1. 学長の業績評価について

西堀議長から、令和9年度（令和8年度業績）以降に実施する学長の業績評価方法の検討案について、資料1にまとめた旨の発言があった。まず、資料1における5項目のうち、『現在9つある「評価項目」の見直し』以外の4項目について審議され、原案どおり承認された。

次いで、西堀議長から、中央教育審議会の答申などで、国立大学法人は色々な改革を求められているが、現在の評価項目では、経営者としての手腕を問う部分が「大学運営」のみであるため、例えば、財務運営、ビジネス連携などの項目を取出して評価する事など、現在9つある評価項目の見直しについて提案があり、意見交換が行われた。

審議の結果、国立大学法人等の機能強化に向けた検討会の「改革の方針」にある【国立大学法人等の全体としての3つのミッション】のうち、千葉大学が目指すミッションを基本に評価するということが確認された。また、現在9つある評価項目の見直しは行わないものの、教育研究面に加え、大学経営面について多面的に評価する観点から、「大学運営」の中で、ガバナンスや財務運営、ビジネス連携などを含めて評価することとし、その旨を業績調書などに注釈することとなった。

なお、本日の意見を踏まえた関係規程の改訂案を議長と事務局において作成し、次回会議で審議することとなった。

意見交換において出された主な意見は次のとおり。

- ・評価項目を増やすよりも、重視する部分を特記する形が望ましい。
- ・【国立大学法人等の全体としての3つのミッション】を意識して「大学運営」の中で評価のポイントとして入れる形が望ましい。
- ・学長の評価は、「研究」や「教育」などの実質的な部分を中心にして、経営面は、「大学運営」の中で、触れる形が望ましい。

- ・「大学運営」を他の項目より重視するという共通認識でも良いが、項目を分けた方が、評価結果を見た際に分かりやすいと考える。
- ・「大学運営」の中に財務運営やガバナンスなどの重要項目を含むということを注記する形が望ましい。

以上